

令和3年度決算に係る

定期監査資料

令和4年6月

中部総合事務所農林局



## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	2
5	主な事業に関する調べ	3
6	現金の取扱状況	10
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
7	財産に関する調べ	11
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
8	財産の貸付け及び使用許可調べ	13
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
9	借受不動産明細調べ	13
10	職員駐車場の管理状況調べ	14
	(1) 管理状況	
	(3) 使用料の見直し	
11	寄附物件の受納状況調べ	14
12	備品の処分状況調べ	14
○	意見・要望等	14
<u>農業振興課</u>		
13	事業別予算執行状況調べ	16
<u>倉吉農業改良普及所</u>		
13	事業別予算執行状況調べ	20
14	農業改良普及事業	20
<u>東伯農業改良普及所</u>		
13	事業別予算執行状況調べ	27
14	農業改良普及事業	27
<u>地域整備課</u>		
13	事業別予算執行状況調べ	35
15	登記の状況調べ	36
<u>林業振興課</u>		
13	事業別予算執行状況調べ	38
16	林業改良指導活動状況調べ	42



1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指摘事項	措置状況等
無し	無し

(2) 監査意見 …該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 …該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和4年5月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	当該年度	3.4.1現在	
定員	4	4	66	66	0	0	70	70	
現員	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
過不足(△)	5	5	67	68	0	0	72	73	
1	1	1	1	2	0	0	2	3	
臨時的任用職員							0	0	
会計年度任用職員	4	5	4	4	0	0	8	9	事務員2 土地改良譲与促進員2 監督補助員1 森林保全巡視指導3

## 4 役付職員の調べ

(令和4年5月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
局長	地原 聡子	0	1	
副局長兼農業振興課課長	丸田 謙一	1	1	(H29～R1 農業振興課課長補佐、R2 倉吉普及所次長)
農業振興課課長補佐	川本 英生	0	1	
農業振興課課長補佐	吉岡 勉	2	1	
農業振興課課長補佐	松原 秀樹	3	1	
倉吉農業改良普及所所長	福田 孝彦	0	1	
倉吉農業改良普及所次長	堀場 智樹	0	1	
倉吉農業改良普及所普及主幹	奥谷 恭代	0	1	
倉吉農業改良普及所普及主幹	田中 伸一	0	1	
倉吉農業改良普及所普及主幹	森本 秀浩	1	1	
東伯農業改良普及所所長	池田 隆政	0	1	
東伯農業改良普及所次長	森岡 宏顕	2	1	中部県民福祉局(農商工連携チーム、中山間振興チーム、共生社会推進課)農業振興監生産振興課
東伯農業改良普及所普及主幹	石原 俊幸	1	1	
東伯農業改良普及所普及主幹	南場 勢祥	4	1	
東伯農業改良普及所普及主幹	福見 尚哉	0	1	
東伯農業改良普及所普及主幹	吉田 厚美	2	1	
東伯農業改良普及所普及主幹	吉田 幸雄	2	1	農業振興監生産振興課
東伯農業改良普及所普及主幹	杉嶋 至	1	1	(R2 東伯普及所 副主幹)
地域整備課課長	山根 義雄	3	1	
地域整備課参事	浅川 浩一	2	1	(H30～R1 地域整備課課長補佐)
地域整備課課長補佐	野口 信孝	1	1	
地域整備課課長補佐	久保田 康之	2	1	
地域整備課課長補佐	北村 裕司	0	1	
地域整備課課長補佐	田村 晴久	0	1	
林業振興課課長	須崎 雅之	1	1	
林業振興課課長補佐	森 雄一	0	1	
林業振興課普及主幹	前野 洋一	1	1	
林業振興課課長補佐	下田 直輝	0	1	
林業振興課課長補佐	露木 慎一	1	1	

5 主な事業に関する調べ（農業振興課）

（単位：千円）

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取梨生産振興事業	33,084,441	33,068,441			16,000
将来ビジョン	1. ひらく（4）農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍				
令和新時代創生戦略	1. 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取 + i s m				
政策項目	(1) 農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に挑戦				

（概要）

ア 目的及び事業の実施状況

（ア）目的

高単価で安定している新品種の「新甘泉」、「王秋」及び基幹品種の「二十世紀」を重点的に支援するとともに、省力的なジョイント栽培や低コスト仕様のハウス二十世紀を推進する。また、気象災害が頻発する昨今、防災、減災に効果が高い多目的防災網の設置を支援する。

（イ）事業の実施状況

令和3年度は、新甘泉、王秋等の新植及び網掛け施設（多目的防災網）の設置等により、新品種の生産拡大を図るとともに、激甚化する気象災害への被害防止対策の促進を図った。

《参考》梨生産振興事業実施状況（新植・改植本数、機械・施設整備）

年度	新植・改植	機械・施設の整備（整備内容）
H29	4,093本（23戸）	14戸 果樹棚、網掛け施設、かん水装置等
H30	2,601本（13戸）	14戸 果樹棚、網掛け施設、ブロードキャスト等
R元	1,866本（13戸）	10戸 果樹棚、網掛け施設、かん水装置等
R2	3,732本（22戸）	22戸 果樹棚、網掛け施設、梨用ビニールハウス等
R3	3,418本（25戸）	16戸 果樹棚、網掛け施設、かん水装置等
実績計	15,710本（96戸）	76戸

イ R3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

事業の周知による事業活用の促進を目的とし、琴浦梨生産部に対し、防災を目的とした網掛け施設の整備に活用できる事業を中心に補助事業説明会を行った。琴浦町では、令和3年度に網掛け施設の整備が2戸の生産者で行われた（延べ39a）。

ウ 成果及び効果

- ・「新甘泉」、「王秋」等の収益性の高い新品種の生産拡大支援を行い、3,418本の新植・改植が行われ栽培面積拡大に繋がった。

《参考1》中部農林局管内における新甘泉の栽培面積の推移（単位：ha）

区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3
新甘泉	29.6	33.7	37.1	40.4	42.6	43.5
王秋	8.8	8.5	8.7	9.4	9.0	8.8

- ・防災等を目的とした網掛け施設の機能向上による設置が5戸（延べ130a）あり、安心、安全な梨生産環境の拡大に繋がった。

《参考2》多目的防災網の整備実績

区分	湯梨浜町	琴浦町	計
多目的防災網整備	89.8a（3戸）	39.8a（2戸）	129.6a（5戸）

エ 課題

本県の強みである梨産地の基盤強化の実現には、収益性の高い新品種への新植・改植の推進や、リレー出荷（ハウス二十世紀→新甘泉→二十世紀→王秋等）による労力分散と昨今激甚化している気象災害への対策が課題である。今後も収益性の高い新品種等への切り替えと、多目的防災網の設置推進を生産者、関係者とともに取り組む。

5 主な事業に関する調べ（農業振興課）

（単位：千円）

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	128,479	96,401			32,079
将来ビジョン	1. ひらく(4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍				
令和新時代創生戦略	1. 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism				
政策項目	(1) 農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に挑戦				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<p>平成25年度に鳥取県が開発した「鳥取型低コストハウス」※の導入を推進し、高収益な施設園芸品目等への転換や規模拡大の取組みを通じて、農業者の経営安定と園芸産地の発展を図ることを目的とした。</p> <p>令和3年度は国事業「産地生産基盤パワーアップ事業」を活用し、スイカを中心に導入を進め、産地の更なる発展を図った。</p> <p>※【鳥取型低コストハウスとは】</p> <p>従来よりも高強度の鋼管（価格は従来品と同程度）を使用し、パイプピッチ幅を従来の1.4倍の70cmに広げることで建設コストを大幅に削減したハウス。強度は産業技術センターにより従来と同等以上であることを確認。</p>					
(イ) 事業の実施状況					
ハウスの導入実績					
	年度	戸数	棟数	導入面積 (m)	
	H27 (実績)	19	64	17,537	
	H28 (実績)	38	172	50,591	
	H29 (実績)	104	327	92,402	
	H30 (実績)	64	245	70,155	
	R1 (実績)	32	118	34,770	
	R2 (実績)	24	76	24,057	
	R3 (実績)	30	115	35,280	
	実績計	311	1,117	324,792	
	R4 (計画)	37	172	49,183	
イ R3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
特になし					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設園芸に関する潜在的な需要が惹起され、1,117棟、35.5ha (H27～R3) のハウス化が推進された。</li> <li>露地栽培から収益性の高い施設園芸へ産地毎にまとまって転換する動きが進み、園芸産地の基盤が強化された。</li> </ul>					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産部の農業生産1千億円達成プランにおいて掲げる園芸産地の基盤強化を実現するため、次年度以降も低コストハウス推進を継続する必要があるとあり、現地からの要望を取りまとめ、生産者、関係者と協議し事業推進していく。</li> </ul>					



5 主な事業に関する調べ（中部農林局倉吉農業改良普及所）

（単位：千円）

事業名	決算（見込）額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
鳥取県農業改良普及事業				
将来ビジョン	1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく (4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍			
令和新时代創生戦略	1. 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism ①農林水産物の活力増進、②将来を担う若き担い手の活躍 SDGSゴール 2 飢餓をゼロに			
政策項目	しごと新時代づくり ・農業生産9百億円・製造品出荷9千億円で挑戦			

課題名：湯梨浜町におけるナシ振興支援

1 目的及び事業の実施状況

(1) 目的

- ア JA鳥取中央東郷果実部は、県内最大のナシ産地であり、「二十世紀」を中心としたナシ生産が行われてきたが、生産者数、面積ともに減少しつつある。
- イ 「新甘泉」や「王秋」のジョイント栽培に取り組む農家は増加しており、550.9aの栽培面積がある。また、新しい栽培方法のV字ジョイントに2戸（品種：「おさゴールド」）が取り組んでいる。いずれにしても新しい技術であり、ジョイント樹の樹齢も異なるため、樹齢に合わせた管理が必要となる。
- ウ 湯梨浜町が、がんばる地域プランを活用して「梨産地再生プラン～つなぐ～」を策定し、新規就農者の確保・育成のため、果樹園の造成・継承に取り組むこととなった。

表 東郷果実部のナシ生産販売状況

	H23	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R3/H23 (%)	R3/H28 (%)
生産者数(人)	432	323	298	287	270	254	252	59	79
栽培面積(ha)	210.0	168.8	159.1	150.0	138.4	132.2	119.2	63	78
出荷量(千C/S)	315	273	273	238	226	180	186	57	66
販売額(百万円)	1,120	1,121	1,125	1,068	1,053	972	1,028	87	87
単価(円/kg)	355	411	412	449	465	541	550	152	132
新規栽培者数(人)	1	2	1	2	1	3	2	—	—

(2) 事業の実施状況

- ア 指導会や研修会などでジョイント栽培のメリット（難しい整枝を考える必要がない、受粉や摘果などの作業が単純等）を説明し、関心のある生産者を対象にしたジョイント栽培農家の視察を実施するなど導入促進を図った。
- イ 樹齢に合わせた管理を効率的に行うため、山田谷スーパー梨団地（H29 ジョイント）、松崎駅南梨団地（R2 ジョイント）といった団地ごとに夏枝管理や着果管理、せん定などの指導会を開催した。また、V字ジョイント農家に対しては個別に巡回し、側枝の確保や新梢伸長を図るためのジベレリンペースト処理を助言した。
- ウ H29年以降の新規就農者に対しては、個表を作成するとともに個別巡回等で技術習得や経営能力向上を図った。
- エ 新たな団地造成（仮称：今滝梨生産団地）に向けて関係機関と団地候補地の選定、土地造成方法、植栽品種や栽培方法、入植者の募集方法について、検討を重ねるとともに、入植希望者説明会に参画した。

2 成果及び効果

- (1) 「新甘泉」や「王秋」、「二十世紀」のジョイント栽培に取り組む農家が増え、栽培面積が640.6aと順調に増えている。
- (2) 樹齢が進んでいるジョイント園は概ね適正着果が、行われた。また、樹齢の若い園（ジョイント後2年まで）

では、側枝候補の新梢確保が概ねできた。

(3) 新規就農者は、いずれの生産者も当該年度目標に達した（収量や販売額等）。

(4) 今滝梨生産団地候補地の土壌調査を行い、土壌調査結果をまとめた団地構想のPRチラシを作成し、生産者へ配布した。入植希望者説明会へは9名の参加があった。

### 3 今後の課題

(1) 引き続きジョイント栽培のメリットや支援策を紹介しながら面積拡大を推進する。

(2) 今後も新規にジョイント栽培に取り組む生産者が増えることが予想される。樹齢にあっ  
たきめ細かな栽培支援が必要である（苗木の植え付け方法からジョイントまでとジョイン  
ト後の管理も含め）。

(3) 新規就農者への技術習得や経営能力向上の支援をする。

(4) 今滝梨生産団地の造成に向けた支援

ア 土地造成にあたって、客土の物理性や化学性の調査、暗きよなどの排水対策について  
協議を行う。

イ 入植希望者説明会への出席者の中で、中核的な農業者となり得る候補者を関係機関で  
協議しリストアップするとともに、出席者以外の生産者への働きかけを行う。

ウ 入植希望者に対し、栽培品種や栽培方法（ジョイント栽培等）の意向等を取りまとめ  
る。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県農業改良普及事業【東伯普及所】					
将来ビジョン	1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく (4) 農林水産物のブランド確立と多様な担い手が活躍				
令和新時代創生戦略	大項目 1. 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism 中項目 (2) 農林水産業 小項目 ①農林水産業の活力増進、②将来を担う若き担い手の活躍 SDGsゴール 2 飢餓をゼロに(食料安全保障、持続可能な農業の促進)				
政策項目	しごと新時代づくり ・農業生産9百億円・製造品出荷9千億円に挑戦 ・商工・農林水産業にIoT・AI等を活用し産業をスマート化 ・「星空舞」などブランド化推進と特A・種子条例制定などでコメづくり支援 ・「新甘泉」150haや和牛5千頭達成など園芸作物・畜産でも生産振興				
(普及活動の概要)					
課題名 琴浦梨産地の担い手確保の推進支援とジョイント栽培の普及推進					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
<ul style="list-style-type: none"> <li>急速な縮小が予測された琴浦梨生産部の、将来ビジョン(担い手・新規就農者の確保・育成により令和10年度に栽培面積50ha(内ジョイント栽培10ha)、生産者70名の確保を目指す)達成を支援する。</li> <li>重点対象農家・ジョイント栽培推進園を通じ、現状では十分な収量が上がっていないジョイント栽培の早期・安定収量確保のため、技術向上に向けた支援を行う。</li> </ul>					
(イ) 事業の実施状況					
<p>新規就農者の確保・育成のため、以下の活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者の確保へ、町報に「梨づくりは儲かる・梨ジョイント仕立て」等の原稿を掲載した。</li> <li>就農相談者への研修計画作成や、就農前の栽培研修会(栽培技術、園地視察)の開催を支援した。</li> <li>研修会や現地巡回を通じて、新規就農者への栽培技術定着と技術向上を図った。</li> </ul> <p>梨ジョイント栽培の普及推進のため、以下の活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ジョイント栽培推進園で、モデル樹を設置して側枝更新を含む重点的管理の推進を行った。</li> <li>栽培経験年数が短い若手の女性を中心とした、ジョイント研修会を開催した。</li> </ul>					
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規就農者のジョイント苗の植付を、同志会会員の協力体制をとって行うよう誘導した。</li> <li>研修では、作業一つ一つの必要性の理解と、作業終了後の状況確認を行いながら実施した。また、他の生産者の園を一緒に巡回しながら直接指導するようにした。</li> <li>ジョイント栽培の側枝更新を、推進園とモデル樹を活用して他の生産者へ紹介しながら進めた。</li> </ul>					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>親元就農の希望者が4名全員、親元で就農することとなった。</li> <li>研修会により作業の必要性和ポイントを理解することで、樹の管理が行き届くようになった。また、自園の改善点が見えるだけでなく、他園を見ることで、刺激を受けてより意識が高まった。</li> <li>重点対象農家(推進園)が、ジョイント梨コンクールで最優秀賞を受賞された。</li> <li>ジョイント栽培の推進により令和3年には4ha(25名)まで増加し、今後2年で2.8ha増加の予定。</li> </ul>					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>就農希望者と受け入れ農家(同志会会員)とのマッチング、受け入れ体制の整備。</li> <li>新規就農者の研修体系、琴浦町農業研修生制度としてのカリキュラム作成支援。</li> <li>就農前研修会、新規就農者研修会の継続開催と、ジョイント大苗の定植作業の協力体制の充実。</li> <li>赤秀率と収量向上に向けた対策検討と、反収3tを目標とした栽培指針の作成。</li> </ul>					

5 主な事業に関する調べ (地域整備課)

(単位:千円)

事業名	決算(見込)額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
地域ため池総合整備事業	144,174	79,296	超積 負担 分給 43,000 15,859 0	6,019
将来ビジョン	守る 豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ ・災害に強い県土の形成が進み、防災・危機管理対策が向上			
令和新時代創生戦略	大項目：幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ 鳥取+rhythm 中項目：まちづくり 小項目：強靱な防災基盤の構築 SDGs ゴール 13 気候変動に具体的な対策を			
政策項目	安心新時代づくり ・河床掘削やため池・流木対策・建物ブロック塀耐震化など災害に強い地域づくり			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

老朽化による不具合や耐震性の低い危険な農業用ため池の改修整備を行うことにより、地震や豪雨などの災害による決壊を未然に防ぐと共に、農業経営の安定化に資する。また、全ての危険ため池の改修整備(ハード)には時間を要することから、ハザードマップの作成を早急に進めることで、ソフト面から地域防災力の向上を図る。

(イ) 事業の実施状況

①防災重点農業用ため池の整備状況

(単位:ヶ所)

管内市町村	防災重点農業用ため池数	対策工事の状況		〈参考〉 総ため池数
		改修済	改修中	
倉吉市	23	8	1	75
湯梨井町	8	0	1	14
琴浦町	11	2	1	23
北栄町	12	2	0	29
<b>管内合計</b>	<b>54</b>	<b>12</b>	<b>3</b>	<b>141</b>

※耐震調査の結果等を踏まえ、対策工事の必要なため池を特定し計画的に整備を進める。

※ハザードマップはR3で100%作成予定 ※主 三朝町にはため池が無い

②R3年度に実施中の地域ため池総合整備事業

地区名	実施年度	ため池数	R2年度まで	R3年度	R4年度
天郷野	H24~R3	4ヶ所	3ヶ所完成 1ヶ所実施中	1ヶ所完成	
般若・般若区有	H29~R4	2ヶ所	1ヶ所完成 1ヶ所着工	1ヶ所実施中	1ヶ所完成
松谷第3	R2~R6	1ヶ所	1ヶ所着工	1ヶ所実施中	1ヶ所実施中
奥	R3~R6	1ヶ所		1ヶ所着工	1ヶ所実施中

イ R3年度実施にあたり改善等に取り組んだ点

- ・早期着手のため補正予算を確保し、奥地区を前倒して着手した。
- ・計画的な策工を進めるため、観ノ目、谷奥地区を令和4年度に事業計画策定し着手できるよう市町・地元と調整した。

ウ 成果及び効果

- ・ハザードマップ作成は、完了ソフト面からの防災支助図れる予定である。また、作成をとおし住民の地域防災への意識が高まった。
- ・R3年度には1か所のため池が着工となった。

エ 課題

国算の確保、県市町の財政状況や地元への同意取得(負担、土地の権限関係等)の問題などから、多くのため池について改修整備が進まないのが現状。推進計画に基づき市町と連携して計画的に進めていくことが求められる。

5 主な事業に関する調べ（林業振興課）

（単位：千円）

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
鳥取県松くい虫等防除事業	79,186	640			78,546
将来ビジョン	3 守る 豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ (3) 人と自然が共生し、美しく豊かな自然が継承（生物多様性の維持等）				
令和新時代創生戦略	大項目 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる 鳥取+ism 中項目 エコスタイル 小項目 海洋・森林等の環境保全と利活用の推進 SDGsゴール 15 陸の豊かさを守ろう				
政策項目					
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
森林としての機能を確保し、高度に発揮させるため、森林病害虫等を早期に駆除・防除を行うことで、被害の拡大を防止し、森林の持つ各種機能の維持・増進を図る。また、ナラ枯れ若返り対策として被害前のナラ林を皆伐し、萌芽更新による若返りを図る。					
令和3年度の松くい虫被害については、海岸部を中心に増加し、被害材積は県全体で昨年度と比べ約1.5倍（R2:3,913m <sup>3</sup> →R3:5,814m <sup>3</sup> ）となり、中部管内でも、北栄町で、昨年度の2倍以上（R2:1,184m <sup>3</sup> →R3:2,872m <sup>3</sup> ）となるなど、被害が顕著となった。					
(イ) 事業の実施状況					
【補助事業】					
「現年」					
倉吉市	伐倒駆除（マツ被害木）11,000m <sup>3</sup> 、ナラ枯れ若返り対策 8.45ha				
湯梨浜町	特別防除 47ha、地上散布 16ha、特別伐倒駆除 15,493m <sup>3</sup>				
三朝町	特別防除 192ha、カシノナガ駆除（ナラ被害木）60本				
北栄町	特別防除 59ha、地上散布、7.5ha、特別伐倒駆除 1,235,725m <sup>3</sup>				
琴浦町	特別防除 148ha、カシノナガ駆除（トラップ）100基、ナラ枯れ若返り対策 1.66ha				
「明許」					
北栄町	特別伐倒駆除 711,999m <sup>3</sup>				
【県営事業】					
「現年」地上散布 10.5ha、特別伐倒駆除 491,447m <sup>3</sup>					
「明許」特別伐倒駆除 195,259m <sup>3</sup>					
イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> <li>中部管内の事業体のみでは、昨年度に比べ倍増した駆除量に対応するマンパワーが不足し、被害木すべての全量駆除が困難となる懸念があった。このため、北栄町に対し、中部管内以外の森林組合等への協力要請を提案したところ、北栄町の要請で、西部管内から森林組合2社が人的支援に加わり、円滑な事業実施に繋がった。</li> <li>北栄町、地元関係者、国、県等が連携し、一体的な防除・駆除・被害跡地の森林再生に向けて、協議会等を開催し、情報共有と今後の対策検討を行った。</li> </ul>					
開催日	場所	内容			
R3.11.17	北栄町（県主催）	現地調査と被害跡地の対策を検討（有識者・町・県）			
R4.3.1	北栄町（町主催）	防除・駆除・森林再生に向けた情報共有と対策検討（土地改良区、自治会、県森連、森林管理署、国交省、町、県）			
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関との連携により、保全すべき松林の被害木について、徹底駆除が実施できた。</li> <li>被害防止対策協議会の実施により、被害区域の地域住民の松くい虫被害対策に係る意識が向上した。</li> </ul>					
エ 課題					
北栄町の海岸部では、近年の松くい虫被害により疎林化が進み、今後、飛砂による農業被害等が懸念され、被害跡地の森林再生が今後の課題となっている。令和4年度は、鳥取大学との共同研究により、被害地周辺に自生する飛砂防備に有効な木本類の調査を行うなど、マツ以外の樹種への誘導も視野に入れ、検討会等において、引き続き被害跡地対策を検討していくこととしている。					

6 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(令和4年3月31日現在)

収入科目（節）	収入済額 （円）	件数（件）	備 考
雑入	0		
合 計	0		

(2) つり銭の状況

(令和4年3月31日現在)

つり銭の有無	無	つり銭の額（円）	
--------	---	----------	--

7 財産に関する調べ

(1)公有財産

ア 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	施設又は施設の名称	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)		
行政財産	県営畑地帯総合整備事業 大栗2期地区	北栄町	25,248.40	不明	増加 減少	R3.9.13	△48.06	不明	用途廃止		25,200.34	不明		
計			25,248.40	0							25,200.34	0		
普通財産					増加 減少									
計			0.00	0			0.00	0			0.00	0		
合計			25,248.40	0			0.00	0			25,200.34	0		

イ 建物

(令和4年3月31日現在)

行政・普通 財産の 区分	施設名等	所 在 地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)		
行政財産	東伯農業改良普及所(車庫 棟含む)	琴浦町	339.84		増加 減少						339.84			
計			339.84								339.84			
合計			339.84								339.84			

ウ 山林	該当なし
エ 動産	該当なし
オ 物権	該当なし
カ 無体財産権	該当なし
キ 有価証券	該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況 該当なし



8 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物  
ア 土地

(令和4年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	電力供給のための配電線施設	東伯郡北栄町大島	2本	H31.1.24	H14.3.11	R6.3.31	360	360	中国電力株式会社ネットワークセンター所長		
	電力供給のための配電線施設	東伯郡琴浦町松谷	10本	H30.1.24	H25.9.27	R5.3.31	2,340	2,340	中国電力株式会社ネットワークセンター所長		
	電力供給のための配電線施設	東伯郡北栄町上種	3本	H31.1.24	H26.9.19	R6.3.31	540	540	中国電力株式会社ネットワークセンター所長		
	電力供給のための配電線施設	東伯郡北栄町上種	4本	H31.1.24	H26.10.22	R6.3.31	720	720	中国電力株式会社ネットワークセンター所長		
	電力供給のための配電線施設	東伯郡北栄町東園	1本	R2.12.28	R2.12.28	R7.3.31	1,500	1,500	中国電力株式会社ネットワークセンター所長		
	電力供給のための配電線施設	東伯郡琴浦町松谷	4本	R3.10.5	R3.10.5	R8.3.31	7,480	7,480	中国電力株式会社ネットワークセンター所長		
計								12,940			
普通財産											
計								0			
合計								12,940			

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	標高(海拔)表示板設置	東伯郡琴浦町八橋212-1	1枚	R3.2.22	H29.3.2 (H29.3.2~ H33.3.31)	R3.4.1~ R8.3.31	免除 (公有財産事務取扱 要領第6-1-(1))	0	東伯郡琴浦町徳万591-2 琴浦町長 小松弘明 (現琴浦町長 福本まり子)	更新 駐車場フェ ンス	
計								0			
普通財産								0			
計								0			
合計								0			

(2) 物品 該当なし

9 借受不動産明細調べ 該当なし

10 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

(令和4年3月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積 (m <sup>2</sup> )	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	東伯郡琴浦町八橋212-1	12.5m <sup>2</sup>	1,666 (4/1~9/30)
			1,766 (10/1~3/31)
普通財産			

(2) 減免の考え方 該当なし

(3) 使用料の見直し 該当なし

11 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

12 備品の処分状況調べ 該当なし

(令和4年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分				備 考	
			売 払 棄 却 の 別	売 払 方 法 ・ 棄 却 理 由	処 分 年 月 日	売 払 額		処 分 費 用
						円	円	
合 計								

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

なし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

なし

# 農業振興課

1.3 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	農業総務費	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県担い手確保・経営強化支援事業	先進的な農業経営の確立に意欲的な地域の担い手に対し、農業用機械・施設の導入を支援 【実績】北栄町1件	
がんばる農家プラン事業	意欲のある農業者等が作成した生産・流通等に係るプランを認定し、プランの実現に必要な支援を行うことにより、元気な農業者等を育成、地域農業の振興・活性化を図る 【実績】倉吉市4件、湯梨浜町1件、北栄町4件、琴浦町2件	
鳥取県就農応援交付金	就農3年以内の認定新規就農者に、農業収入を補填する資金を交付することにより、収穫不安定期の経営の安定を図り、担い手へと発展することを支援した。 【実績】倉吉市1名、湯梨浜町1名、琴浦町1名、北栄町4名、計7名	
鳥取県就農条件整備事業	就農5年以内の認定新規就農者による農業機械の購入又は農業用施設の整備を支援することにより、将来、担い手となる人材の基盤整備を推進した。 【実績】倉吉市8件、湯梨浜町2件、琴浦町5件、北栄町5件、計20件	
鳥取県親元就農促進支援交付金	認定農業者が、新卒又は他産業に従事していた子らに栽培技術・経営管理等を習得させるための研修経費を助成することにより、農業経営者の若返りと既存の農業経営基盤の維持・発展を図った。 【実績】倉吉市10名、湯梨浜町3名、琴浦町5名、北栄町12名、計30名	
新規就農者総合支援事業 (就農くらしのアドバイザー)	都市部からの移住者等、非農家の新規就農者に対し、栽培技術・経営管理だけでなく、暮らしに関するアドバイスを継続的に行うことにより農村社会への適応と定着を図る(報償費)。 【実績】0名	
産地主体型就農支援モデル確立事業費補助金	生産組織等が「将来ビジョン」を作成し、このビジョンに沿って行う産地受入体制の整備、優良園の維持管理や優良農地のほ場条件の改善に対して支援 【実績】倉吉市1件、湯梨浜町1件、北栄町1件	
鳥取県集落営農体制強化支援事業費補助金	集落営農組織の機械施設導入等に対する支援 【実績】三朝町2件、湯梨浜町1件	
企業等農業参入促進支援事業費補助金	農業以外の業を営む企業等に対して、農業機械の購入又は農業用施設の整備を支援することにより、企業の農業参入を促すとともに、農業参入した企業等の初期段階の経費を軽減し、農業経営の安定化を図る。【実績】0件	
もうかる6次化・農商工連携支援事業(スタートアップ型)	農林漁業者や加工グループ等による県産農林水産物を使用した加工品づくりの機械整備を支援 【実績】なし	
初めての6次産業化バックアップ事業	意欲ある小規模農林漁業者が行う6次産業化の取組を支援 【実績】なし	
中部発!食のみやこフェスティバル実施事業	県、中部圏域の市町、農林漁業団体、商工団体で組織する「中部発!食のみやこフェスティバル実行委員会」が、毎年6月に開催している「中部発!食のみやこフェスティバル」は、新型コロナウイルスの蔓延防止のため、2日間の会場開催は中止し、代替企画としてスタンプラリー「今年はお店で食フェス」を実施した(5月8日~6月30日、80店舗、応募数647通、スタンプ数2,981個)。	

目 名	農作物対策費	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県鳥獣被害防止総合対策交付金	鳥獣害防止施設の設置、被害防除の取組等について助成した。 【実績】倉吉市、倉吉市有害鳥獣捕獲協議会、三朝町、三朝町鳥獣被害防止対策協議会、湯梨浜町鳥獣被害対策協議会、琴浦町、琴浦町鳥獣被害対策協議会、北栄町鳥獣被害対策協議会	
鳥取県鳥獣被害総合対策事業費補助金	有害鳥獣の捕獲、被害防止施設設置及び捕獲奨励について助成した。 【実績】倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町	
園芸産地活力増進事業費補助金(発展成長タイプ)	JAを対象とした主要園芸品目の栽培・出荷に係る機械及び施設整備に助成した。 【実績】倉吉市1件、琴浦町1件、北栄町1件	
戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金(梨団地)	梨の園芸団地を戦略的に整備し、新規就農者等の多様な担い手の参入を促す。 【実績】琴浦町1件、北栄町1件	
鳥取梨生産振興事業費補助金「5 主な事業に関する調べに記載」	梨の新品種・産地振興品導入促進、生産基盤の整備等 【実績】倉吉市3件、湯梨浜町1件、琴浦町2件、北栄町1件	
鳥取柿・ぶどう等生産振興事業費補助金	梨以外の果樹について、新品種・産地振興品導入促進、生産基盤の整備等 【実績】倉吉市1件、湯梨浜町1件、琴浦町2件、北栄町3件	
鳥取の花いきいき総合戦略事業	花生産に対する新技術導入、ハウス周りの環境整備7等を助成した。 【実績】倉吉市2件、北栄町1件	
戦略的園芸品目(イチゴ「とっておき」)総合対策事業	イチゴ新品種の普及に向けた単収・品質向上、生産基盤強化に必要な資材、施設の整備を助成 ＜実績＞琴浦町(農家2件)、北栄町(農家2件)	
ブロッコリー産地の広域化・生産強化総合対策事業	機械リース導入(50万以上)、機械導入(50万未満)、土地の基盤整備、栽培技術確立を支援 ＜実績＞琴浦町(農家19件、1生産組織)、北栄町(農家3件)	
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金「5 主な事業に関する調べに記載」	西瓜農家への鳥取型低コストハウス整備を助成 ＜実績＞ 倉吉市(31棟)、琴浦町(3棟)、北栄町(81棟) 合計 115棟	
鳥取県産地パワーアップ事業費補助金	西瓜農家への寒冷紗の資材導入を助成 ＜実績＞ 倉吉市(90枚)、琴浦町(6枚)、北栄町(63枚) 合計 159枚	
雪害園芸施設等復旧対策事業	雪害により被害を受けた施設の復旧に必要な費用を助成 ＜実績＞ 倉吉市(JA1件)、琴浦町(JA1件)、北栄町(農家6件、JA1件)	

目 名	畜産振興費	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県和牛振興計画推進事業費補助金(担い手の増頭に対する緊急支援)	地域の担い手農家が増頭するために必要な繁殖雌牛の導入支援 【実績】なし	
鳥取県和牛振興計画推進事業費補助金(子牛導入支援対策)	農協が行う産肉能力の高い繁殖用雌子牛及び肥育素牛の地域への導入を支援 【実績】JA鳥取中央(繁殖用雌子牛19頭、肥育素牛95頭())	

目 名	家畜保健衛生費	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
豚コレラ防疫対策緊急支援事業(豚コレラ防護柵緊急支援)	豚コレラの予防対策として、イノシシ等野生動物の侵入を防ぐためにワイヤーメッシュ等の防護柵を設置する取り組みを支援 【実績】なし	
豚コレラ防疫対策緊急支援事業(豚コレラ緊急防除対策支援)	豚コレラの予防対策として、野鳥や小動物等野生動物の侵入を防ぐために防鳥ネット等の防護資材を設置する取り組みを支援 【実績】なし	

# 倉吉農業改良普及所

## 1 3 事業別予算執行状況調べ

目名	農業改良普及費	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
農業改良普及所管理運営費	改良普及指導活動を行う上で必要な公用車の保守管理費及び庁舎の管理費等の農業改良普及所の運営費。	
農業改良普及指導活動費	改良普及員が普及指導計画(課題数16)に基づき、生産技術や地域農業振興策等について助言指導を行った。 「5 主な事業に関する調べ」及び「個別様式 22 農業改良普及事業(3)普及活動の重点事項と指導活動状況」に記載。	
普及職員研修費	国・県が実施した研修会に改良普及員を参加させ、普及活動に必要な知識・技術を習得させた。	

## 1 4 農業改良普及事業

## (1) 普及事業の実態

## ア 基本方針

普及所の管轄範囲は倉吉市、三朝町および湯梨浜町で県の中央部に位置し、日本海沿岸地域から中国山地に及んでおり多様な農業地域である。

管内の農業経営体数は2,367戸で、耕地面積は田2,629ha、普通畑613ha、樹園地205haを有し、農業産出額は125.9億円(うち米23.9億円、野菜43.9億円、果実17.0億円、乳用牛7.1億円、肉用牛5.4億円等)と県全体の産出額の16.5%を占めている農業地域である。

※経営体数、耕地面積は2020農林業センサス、産出額は令和2年市町村農業産出額(推計)から

普及活動は、農業者の意向、要望に対応することを基本姿勢としつつ、自主的に農業経営、農村生活の改善に取り組む農業者等に対し、現場で直接接し技術や経営に関する支援を行う。

このため、地域の実情に即した普及課題を設定し、関係者との連携を密にして効率的・効果的な普及活動を展開し、「活力ある農業・農村の振興」を図る。

活動の基本は、次のとおりとする。

## (ア) 普及対象の重点化

a 農業の企業的経営を目指す「農業生産法人」「認定農業者」「新規就農者(参入企業も含む。)」  
「集落営農」「生産を主目的とするグループ(有機・特裁など)」「農業の6次産業化を目指す起業グループ」及び「これらを志向し企業的農業経営を目指す者」を重点的に支援。

b 対象が取り組む経営改善や新たな取組み等が軌道に乗るまでの一定期間を重点的に支援

## (イ) 支援内容の重点化

a 新技術等(新技術・新品種の普及及び支援対象の新たな取組み)に関する指導、経営アドバイス(経営分析の手法等)

b 支援する新技術等は地域の実態が異なることから、農業者、関係機関、団体等の意見を聴き、重要度、緊急度の高いものから取り組むことが必要。



イ 活動体制

所長 伊澤 宏毅、次長 門脇 博成

班 名	分 担 事 務	班 長	班 員 (○印が副査)
総合支援班	1 農業経営相談所に関する事 2 新規就農者育成確保に関する事 3 農業労働に関する事 4 企業農業参入に関する事 5 農商工連携に関する事 6 農福連携に関する事	門脇 次長	○飯田 副主幹 坂本 改良普及員 塩 普及主幹 森本 普及主幹 田平 普及主幹 川戸 副主幹
作物班	作物に関する事	塩 普及主幹	○奥谷 副主幹 吉田 副主幹
野菜・花き班	野菜・花きに関する事	田平 普及主幹	○前田 副主幹 板倉 改良普及員 大豊 改良普及員
果樹班	果樹に関する事	森本 普及主幹	○戸板 副主幹 山本 改良普及員 中西 改良普及員
畜産班	畜産に関する事	川戸 副主幹	○本間 改良普及員

(2) 農業改良普及所の担当地区

(令和4年3月31日現在)

市町村名	担当地区の状況								
	農家数 戸	耕地面積				家畜飼養頭数			
		計 ha	田 ha	畑 ha	樹園地 ha	乳用牛 頭	肉用牛 頭	豚 頭	鶏 羽
倉吉市	1,393	2,479	1,900	500	79	776	1,434	2,614	14,059
三朝町	383	378	303	62	13	168	2,626	0	0
湯梨浜町	591	590	426	51	113	0	0	0	132,150

資料1) 2020年農林業センサスによる

資料2) 家畜頭羽数は、令和3年2月報告「家畜飼養状況調査」(県畜産課)による

(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
農業担い手の確保・育成と経営改善支援	就農希望者 新規就農者 農業経営相談所対象経営体  計44経営体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就農希望者が円滑に就農できるよう、研修や就農計画の作成などを支援した。</li> <li>・就農後5年以内の認定新規就農者や親元就農者を中心に技術や経営のスキルアップを支援した。</li> <li>・高い専門性がなければ解決できない課題をもつ経営体に関しては農業経営相談所の重点対象としてその解決を支援した。</li> </ul>	新規就農相談者数：20人 青年等就農計画の認定者：2人 親元就農研修計画の認定者4人  ・青年等就農計画の目標所得達成者17人（20人中：85%）
三朝町における米・大豆のブランド化促進へ向けた取組支援	特選三朝米ブランド化促進協議会 （13戸、7.9ha）  三朝神倉大豆生産部 （30戸、36.5ha）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水稻研修会が6～7月に2回開催され、普及所が講師を務めた。また、町からの要請を受け、NCNによる水稻情報放映の企画に参画して番組構成、原稿作成、素材提供等を行った。</li> <li>・特選三朝米の特徴や目的について、何を追求していくのか、ブランド協で決めるよう5月の総会にて提言した。</li> <li>・生産部事務局と連携して、収量確保と大粒率向上につながる重要技術の抽出を目的とした栽培チェックシートを4月に配布し、収穫後に回収分析して、3月の品評会にて抽出技術の普及浸透を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三朝町の水稲振興を図るため、一般生産者を対象として例年行っている町主催の水稲基礎研修に加え、本年から新たにNCNによる水稻情報放送の取り組みが始まった。</li> <li>・特選三朝米は需要のある三朝温泉旅館への供給を目的として、きぬむすめを中心に取組を継続することが決まった。</li> <li>・三朝神倉における堆肥施用試験により増収効果が改めて確認され、低地力地帯における堆肥施用推進に資する結果が得られた。</li> </ul>
湯梨浜町におけるナシ振興支援	J A鳥取中央東郷果実部「新甘泉」栽培者及び栽培希望者 （252戸、119.2ha）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規栽培者の掘り起こしや既存農家へのジョイント仕立てを推進した。</li> <li>・夏枝管理、整枝・せん定などの研修会や個別巡回を実施した。</li> <li>・松崎駅南梨団地で、昨年実施した排水改善（暗きょ）及び土壌改良の効果を確認するため、土壌断面調査研修会を開催した（9/29）。また、断面調査の結果をまとめ、昨年の結果と併せて入植者へフィードバックする説明会を開催した（10/19）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規にジョイント栽培（大苗定植）が約90a増えた。</li> <li>・各作業への理解がなされ、実施されるようになった。</li> <li>・松崎駅南梨団地で土壌断面調査研修会を行い、土づくりや排水改善の必要性が理解され、6戸が土壌改良を3戸が排水改善のための暗きょを実施した。</li> </ul>
倉吉スイカの産地強化・発展支援	倉吉西瓜生産部 （129戸、93ha）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導員の管理作業を視点カメラで撮影し、新規生産者に共有し、技術の見える化を図った。</li> <li>・優良農地の継承支援で、資料の作成支援、農業委員会等他組織</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各管理作業の動画マニュアルを指導部と制作して部会へ公開し、新規生産者を中心に好評であった。</li> <li>・農地情報共有の仕組みづくりやトンネル支柱融通の仕組み</li> </ul>

		<p>への取組周知の調整を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 灌水の整備や来年度の事業実施に向けた相談など、地域プランの進捗状況や今後の取組について、随時生産部会役員や関係機関で共有し協議ながら進めた。</li> <li>・ 新規栽培者に向けて、スイカ後作としてストックの栽培スケジュール決定に向けた相談を行った。また、播種、八重鑑別、巡回勉強会（2回）、収穫調整作業の勉強会を実施した。</li> </ul>	<p>づくりなど、生産部会主体の取組開始を支援することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スイカ農地再生や灌水環境整備など地域プランの計画に沿って、関係機関と連携しながら順調に進めることができています。また、生産者も含めて中間検討も実施できた。</li> <li>・ ストックの勉強会や推進を営農センターと積極的に行い、新規栽培者が増加した（今年度3名）。</li> </ul>
ゆとりある酪農経営の実現支援	倉吉地区酪農組合 13戸 同青年部 9人 倉吉コントラ合同会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組合構成員の過半が参加する倉吉コントラ合同会社の運営を支援した。</li> <li>・ 暑熱対策として換気扇の風速測定を行い牛舎内見取図を作成して説明を行った（7月～8月：11戸）</li> <li>・ 全戸に牛群検定の結果を参考とした飼養管理の改善案を提示した。</li> <li>・ 経営分析による課題把握を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飼料用トウモロコシの栽培面積81.7haの内、71.4haの収穫調整を行った。</li> <li>・ 暑熱対策として換気扇の風速を測定して牛舎内見取図を作成することで換気扇の設置位置や角度について関心を持つ農家が増えた（4戸）。</li> <li>・ 管内の総出荷乳量は5,796tで経産牛1頭当たり乳量は9,789kgであった。</li> <li>・ 対象13戸のうち9戸で所得額が前年度より増加した。</li> </ul>

(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況

事業名	当該地区又は事業主体	援助指導状況	成果又は結果
みんなでやらいや農業支援事業(がんばる地域プラン)	湯梨浜町	地域プランの実現に向けた支援	果樹園を継承するための体制が整備された。また、新規就農者募集のため県外の就農相談会に参加した。
	倉吉市	スイカの地域プランの策定に向けた支援	意見交換を通して、新規就農者確保に向けての課題や、取り組むべきことが整理され、産地活性化に向けて機運が高まった。
がんばる農家プラン支援事業	全市町	規模拡大や低コスト化等の経営改善に取り組んでいるプラン作成農業者に営農・経営について指導	本年度プラン新規認定 3 件 事業実施支援 4 件
アグリスタート研修事業、新規就農者総合支援事業	全市町	新規就農希望者への相談及び青年等就農計画等の作成支援、新規就農者の栽培技術・経営の支援助言	就農相談対応 20 人 青年等就農計画の認定 2 人 親元就農研修計画の承認 4 件
集落営農体制強化支援事業	全市町	集落営農組織に対して機械施設の整備、組織化に向けた取り組み支援	事業実施支援 3 件 (三朝町 2 件、湯梨浜町 1 件)
農地中間管理事業	全市町	農地の借入を希望する担い手(大規模農家、集落営農組織等)へのプラン作成支援	新規に約 174ha を担い手(個人、集落営農組織、法人)が引き受けることになった。 倉吉市 120ha 三朝町 17ha 湯梨浜町 37ha
有機・特別栽培農産物等総合支援事業	全市町	鳥取県有機・特別栽培農産物推進計画推進に向けて、栽培指導、現地確認等の指導支援	管内 有機農産物認証 1 件 特別栽培農産物認証 23 件
指定野菜価格安定対策事業	倉吉市 湯梨浜町	指定野菜(秋冬ねぎ、夏秋キャベツ、ホウレンソウ等)の生産安定と高品質化に向けての指導	対象品目の栽培技術の向上
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	倉吉市	鳥取型低コストハウス導入に関する助言等	倉吉市: 9 戸、31 棟整備
繁殖雌牛増頭加速化事業	倉吉市 三朝町	繁殖素牛の導入助言	増頭 倉吉市: 2 戸、4 頭 三朝町: 1 戸、5 頭

(5) 業農業改良普及所が指導及び設置している展示圃（農業改良普及活動促進事業）の設置状況調べ  
 （令和4年3月31日現在）

事業名	展示目的	展示内容	実施場所	実施者名	事業費	事業量計画(実績)	展示期間	指導した期間	支払額	支払年月日
協同農業普及事業に係わる実証圃・モデル農家（農業改良普及費）	三朝神倉における石灰窒素の施用効果確認試験	大豆の元肥に石灰窒素を施用し、収量や品質に及ぼす影響を確認して石灰窒素の有効性を検証した。	三朝町牧	個人	10,000円	3.5a	R3.7~R3.11	同左	10,000円	R4.3.2報償費
	大豆畝立て狭畦栽培の現地実証	畝立て播種を行い出芽状況を確認するとともに、収量及び作業性における現地適応性について検討した。	倉吉市別所	法人	10,000円	56a	R3.6~R3.11	同左	10,000円	R4.3.2報償費
	ブドウ「シャインマスカット」のフラスター液剤処理による副梢管理の省力化	フラスター液剤がシャインマスカットの副梢管理の省力化と果実品質に及ぼす影響を調査した。	湯梨浜町はわい長瀬	個人	10,000円	2a	R3.5~R3.9	同左	10,000円	R4.3.2報償費
	梨「新甘泉」の変形硬化軽減対策	ナシ新品種「新甘泉」の摘果時期の違いで、変形硬化症が低減できるか検証した。	倉吉市関金町関金宿	個人	10,000円	3a	R3.5~R3.9	同左	10,000円	R4.3.2報償費
	黒ぼく畑に適した夏越し特性の良好な白ねぎ品種の選定	近年開発され新品種を黒ぼく畑で栽培し、夏越し性、収量性について評価した。	倉吉市上井	個人	10,000円	20a	R3.6~3.11	同左	10,000円	R4.3.2報償費
	トマトつやなし果発生軽減資材の効果試験	裂果防止剤の散布によって、規格外品となり問題となっているつやなし果の発生軽減効果を調査した。	倉吉市大原	個人	10,000円	5a	R3.4~R3.9	同左	10,000円	R4.3.2報償費
	カボチャ「すずなりバタ子さん」に対するキチンキトサンオリゴ糖の施用効果	生育促進効果及び病害耐性誘導効果が期待される新しい資材であるキチン・キトサンオリゴ糖の施用効果を調べた。	三朝町吉尾	個人	10,000円	1.2a	R3.6~R3.11	同左	10,000円	R4.3.2報償費
	高気密シートを利用した飼料用トウモロコシサイレージ調製	高気密シートを利用したサイレージの品質（発酵）について比較調査を行い、有利性を確認した。	倉吉市国府	個人	10,000円	スタックサイロ2基	R3.8~R4.1	同左	10,000円	R4.3.2報償費

# 東伯農業改良普及所

## 1.3 事業別予算執行状況調べ

目 名	農業改良普及費	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
鳥取県農業改良普及事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改良普及員が普及指導計画(課題数19)に基づき、生産技術や地域農業振興策等について、助言・指導を行った。</li> <li>「5 主な事業に関する調べ」及び「個別様式 2.2 農業改良普及事業(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況」に記載。</li> <li>・普及指導員実務能力習得研修等各種研修(リモートを含む)に改良普及員を参加させ、普及活動に必要な知識・技術を習得させた。</li> <li>・普及指導活動を行う上で必要な公用車の保守管理費及び庁舎の管理費等の農業改良普及所の運営に支出した。</li> <li>・普及指導活動を行う上で必要な、調査用機器や資材等の購入に支出し、活用した。</li> </ul>	

## 1.4 農業改良普及事業

## (1) 普及事業の実態

## ア 基本方針

管内の農業は、大山山麓の裾野に広がる広大な黒ぼく地帯と天神川まで続く砂丘地帯、および河川域の水田で営まれており、野菜(すいか、らっきょう、ながいも、トマト、ブロッコリー、白ねぎ等)、果樹(梨、ぶどう等)、畜産(酪農、肉用牛、ブロイラー等)、水稻、飼料作物、芝など多様な作物が意欲的に生産されている。多くの農畜産物は全国に通じるブランド力を有し、県内を代表する農業地帯であり、地域の基幹産業でもある。

しかし、近年、担い手不足による農家数の減少や、栽培面積の減少による生産量・販売額の低下傾向、作物の栽培条件が不利な農地の荒廃が拡大するなどが課題である。一方、次代を担う若手農業後継者も数多く就農しており、あわせて県内外からの新規就農者や新規就農を目指す研修生の存在など、意欲的に農業に取り組む新たな担い手も増えつつある。

これらの現状を踏まえ、普及活動は、地域を支える活力ある農業の実現に向け、産地および農業者の意向、要望に対応することを基本姿勢としつつ、意欲的な農業経営改善に取り組む農業者や新規就農者等に対し、直接現場で接するなかで技術や経営に関する支援を行う。

## イ 活動体制

所長 椿 越夫 次長 森岡 宏顕

班名	分担事務	班長	班員(○が副査)
作物班	作物に関すること	稲坂 副主幹	○伊藤 改良普及員
野菜・花き班	野菜・花きに関すること	石原 普及主幹	○吉田(厚) 普及主幹 池田 副主幹 田中(陽) 改良普及員 川田 改良普及員 石塚 改良普及員 荻原 改良普及員
果樹班	果樹に関すること	杉嶋 普及主幹	○井戸 副主幹 小谷 改良普及員
畜産班	畜産に関すること	南場 普及主幹	○岩崎 普及主幹 西條 副主幹
総合支援班	農業後継者・新規就農者・農業青年組織、農業労働に関すること	森岡 次長(兼)	○吉田(幸) 普及主幹 森田 副主幹 各班長

(2) 農業改良普及所の担当地区

(令和4年3月31日現在)

市町村名	担 当 地 区 の 状 況									
	田 ha	畑 ha	樹園地 ha	畑のうち 牧草専用 地 ha	計 ha	販売農家数 戸	乳用牛 頭	肉用牛 頭	豚 頭	鶏 千羽
北栄町	787	709	76	54	1,572	723	549	1,899	2,033	123
琴浦町	907	838	105	127	1,850	885	3,309	5,781	9,932	1,660

田、畑、樹園地、販売農家数は2020年農林業センサスによる。

家畜飼育頭数は令和3年2月1日現在で、畜産課調べによる。(鶏は、千羽未満は四捨五入による)

(3) 普及活動の重点事項と指導活動状況

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
(作物) 北栄町におけるスクミ リンゴガイの被害低減	JA鳥取中央 北栄 営農センター管内 農家全戸 (水稲作付面積 約 670ha(約410戸)) 【重点対象】 横良川周辺ほ場(常 発地域) 約180ha (約100戸)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水田生産組合に呼びかけて、役員及び水田管理者への対策現地研修会を行った。</li> <li>・北栄町版スクミリンゴガイ対策一覧表を作成した。</li> <li>・発生分布・水稲被害状況・対策実施の調査を実施した(7月)。</li> <li>・被害ほ場のドローン空撮および画像解析を行い、ほ場ごとの食害率を測定した。</li> <li>・秋期耕耘、水口ネットの効果検証を行い、払落し可能な卵塊の事例とともに事例集を作成して対策一覧表へ掲載した。</li> <li>・対策協議会の運営について、情報提供や技術助言を行った。</li> <li>・苗箱トラップの作成・設置方法の動画公開を町へ提案するとともに、素材を提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の活動として総合的な対策方法を町内水稲生産者に周知したことにより、スクミリンゴガイの食害が多い地域を中心に水稲生産者が熱心に対策を実施し、R3年度の食害率は0.8%となり、目標(25%)を達成できた。</li> <li>・秋期耕耘の実施面積は、R元年秋7haからR2年秋63ha、R3年秋は85haとなった。それとともに、タニシ分布面積は微増にもかかわらず、食害面積はR2年8.4haからR3年は0.3haに激減した。</li> <li>・苗箱トラップの作成方法が、町広報課から動画公開された(令和4年4月)。</li> </ul>
(野菜・花き) 琴浦ブロッコリーの産 地強化支援	琴浦ブロッコリー 生産部(148ha、76 戸) 【重点対象】25名 生産部役員(10 名)、青年部(15 名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・琴浦ブロッコリーの産地強化会議(4~7月、7回)に併せて緑肥導入の効果等を情報提供した。</li> <li>・地域プランの目標設定、取組内容を、生産部役員、JA、町等で協議し、計画作成を進めた。</li> <li>・プラン審査会に向け、必補足資料等を整理、作成の役割分担を提案し、作成を支援した。</li> <li>・本計画審査に向けた資料作成支援を行った。</li> <li>・排水対策の意識向上と技術的な</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんばる地域プラン「未来をひらく琴浦ブロッコリー地域ブランド力向上プラン」(プラン目標:販売額向上414→470億円)が作成され、認定された。</li> <li>・がんばる地域プランでは、令和4年度から、排水対策、条件不利地での地力向上のための堆肥の導入等に取り組むこととなった。</li> <li>・排水性が悪い箇所、インテイクレートが小さい事例が見られたため、ブロッコリー産地の「広域化・</li> </ul>



		<p>取組の支援として、水田転換畑の排水対策が実施されるほ場2か所の、対策前後のインテイククレート(浸透能)、土壌硬度等を調査し、対策による効果を生産者に情報提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロッコリー有利販売に向け、ドローン空撮による収穫、出荷時期の事前予測について検討を行った。</li> <li>・育苗管理方法等を記載した産地マニュアル作成に向け、育苗農家への聞き取りを行い、秋冬どり作型のマニュアル(案)を検討し作成した。</li> </ul>	<p>生産強化総合対策事業」を活用して、明渠、耕盤破碎、均平化の実施による排水性改善を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対策によりインテイククレートが高くなり、一部で生育が改善された</li> <li>・育苗について、マニュアル暫定版が完成した。</li> </ul>
<p>(果樹) 「輝太郎」優良園の育成 (琴浦梨産地課題について、「5 主な事業に関する調べ」に詳細を記載)</p>	<p>鳥取中央農協柿生産部(管内の輝太郎生産者 25戸) 【重点対象】6戸(琴浦3戸、北栄3戸)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理技術の確立と普及 <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期生理落果が多い園で元肥削減の技術実証を行った。</li> <li>・輝太郎栽培研修会で、防除、かん水、摘蕾・摘果、花卉除去、枝つり、葉つみ、適期収穫等の基本技術の徹底を呼び掛けた。</li> <li>・中央農協管内指導員、生産者に対し、せん定研修会を実施した。</li> </ul> </li> <li>2 輝太郎モデル園の早期成園化に向けた管理支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別巡回による、着果管理、かん水、防除、施肥、せん定管理助言を行った。</li> <li>・水田転作園の排水対策として、土壌調査、排水対策の実施支援(畝たて、明渠等)を行った。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉つみ、枝つりは25名全員がある程度取り組み、反射マルチは6戸で実施された。</li> </ul> <p>(赤秀率の向上に結び付かなかった原因は、収穫期に降雨が続き、汚損果、スレ傷が見られたため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者は、幼木、若木などの樹齢に応じたせん定を理解された。</li> <li>・重点対象農家の収量は、828kg/10aと、前年比124%、計画比111%で良好であった。</li> </ul>
<p>(畜産) 肉用牛担い手農家への支援</p>	<p>管内肉用牛農家 37戸 【重点対象】6戸</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手農家の課題解決のため、飼養管理技術改善を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○繁殖成績改善や子牛の発育向上に向けた技術支援</li> <li>○繁殖母牛の適正更新、牛群改良促進等</li> </ul> </li> <li>・規模拡大に向けた、経営試算や将来計画の策定を支援した。</li> <li>・担い手農家の経営管理能力向上を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○簿記研修会により経営状況と課題の把握を支援した。</li> <li>○経営分析(経年比較、農家間比較)により、能力向上を図った。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点対象では、経営検討会等で検討された改善事項が実施される等、経営主の経営改善に向けた意欲が高まった。</li> <li>・経営継承した農家に対する支援により、経営管理能力の向上が図られた。</li> <li>・関係機関との連携を計ることにより、資金繰りに対する支援や技術改善を通して経営改善を進める体制を固めることができた。</li> </ul>

<p>(総合支援①) 新規就農者の自立支援 と農業青年組織の活動 促進</p>	<p>新規就農者 【重点対象】 12名  中部農村青年連合 (20名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町とは「対象者状況一覧表」、 所内では「就農相談整理表」で 情報共有と連携を図りながら、 青年等就農計画「勉強会」を開 催して、相談者個々の状況に応 じた実現可能な就農計画の作成 ・営農支援を行った。</li> <li>・新規就農者(重点12名)は「個票」 で情報を共有しながら個別巡回 し、目標達成へ向けた技術指導 や、変更計画の作成支援、経営 改善に向けた重点指導を実施し た。</li> <li>・中部農村青年連合に所属する青 年のプロジェクト活動につい て、実施とまとめを支援した。</li> <li>・定例会の運営と勉強会(労務管 理)の開催を支援した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の就農相談者35名のうち34 名の方向性が決まった。また、青 年等就農計画の勉強会は15名に実 施。計画作成支援者19名中、8名が 就農計画の作成ができた。</li> <li>・新たに果樹の新規就農者等(6名)を 対象に農業基礎講座を開始した。 また、初めてハウス建設、保守管理研 修会を開催し16名の新規就農者が 参加した。</li> <li>・中部農村青年連合のプロジェクト 活動には5名が取り組んだ。</li> </ul>
<p>(総合支援②) 収穫・調整作業の機械 化による効率化と補助 具等による身体負担軽 減の検討</p>	<p>大栄西瓜組合協議 会 210戸 北栄町ハウレンソ ウ部会 63戸 大栄花き部会 35戸 琴浦西瓜生産部 24戸 琴浦梨生産部 96戸 北条支所ぶどう生 産部 96戸 琴浦ミニトマト生 産部 64戸</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉物野菜の出荷・調整作業改善の 事例収集へ、カイゼンマイスタ ーによる作業場改善指導を提案 した。</li> <li>・ハウレンソウの調整作業事例収 集と、収穫コンテナ移動の方法 を紹介した。</li> <li>・花きの調整機械研修、調整作業 研修の提案や開催支援を行い、 作業のポイント等を紹介した。</li> <li>・アシストスーツによる身体負担 軽減の、実証調査や聞き取り調 査を行い、紹介した。</li> <li>・ストレッチによる負担軽減推進 に、理学療法士と打合せや撮影 した動画への助言を得ながら、 動画の公開を進めた。</li> <li>・各生産部会でのストレッチ紹介 や資料配布により、負担軽減を 進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善指導を受け、具体的な方法を 理解され、取り組まれている。</li> <li>・ハウレンソウ調整作業効率化のポ イントが明らかになった。</li> <li>・花き調製機械の性能が理解され、 購入が進みつつある。</li> <li>・アシストスーツの種類別の効果の ある作業が整理された。</li> <li>・スイカ作業に対するストレッチ資 料・動画を作成し、県公式動画チ ャンネルに3種類公開した。</li> </ul>

(4) 普及事業で、他の事業実施に対する援助指導状況

事業名	該当地区	援助指導状況	成果・結果
<p>みんなでやらいや農 業支援事業</p>	<p>北栄町 琴浦町</p>	<p>農業所得の向上を目指す意欲的な農業者 の「がんばる農家プラン」について、策 定支援や、プラン実現のための現地指導 を行った。</p>	<p>農家プラン(新規4件 (北栄町; 3件、琴浦町 ; 1件))が認定され た。</p>

		地域プラン策定へ向けての助言や資料作成支援を行った（琴浦町、北栄町）。	地域プラン（1件：琴浦ブロッコリー）が認定された。
新規就農者総合支援事業	北栄町 琴浦町	新規就農希望者の相談を受け、就農計画作成を支援し、就農後の栽培管理・経営指導を行った。	就農相談対応 46件。 青年等就農計画は、新規7件、変更5件が認定された。
農業経営者サポート事業	北栄町 琴浦町	法人化や経営承継等の相談に対応した。	相談者リストにある経営体数（北栄町：5経営体、琴浦町 1経営体）
地方創生推進交付金（スマート農業技術の開発・実証事業他）	琴浦町 北栄町	ドローン撮影画像によるブロッコリーの収穫期予測やミニトマトハウスの環境制御技術の実証・検討・紹介を行った。	普及性の高いスマート農業技術の取り組みが始まった。
有機・特別栽培農産物等総合支援事業	北栄町 琴浦町	有機・特別栽培農産物の栽培技術等についての助言、支援を行った。 有機農産物の検査・判定業務を行った。	特別栽培農産物の認証は、管内で21件であった。
「星空舞」ブランド化推進事業	北栄町 琴浦町	「星空舞」のブランド化を支える研究に係る現地試験の設置・調査を支援した。 農薬・化学肥料不使用栽培技術、排水困難水田における栽培技術の確立へ向け、試験・検討を行った。	J A自主検査の1等品位 北栄88%（前年87%）、 琴浦98%（前年79%）。 令和4年産の生産登録 118ha（前年126ha）。
消費・安全対策交付金	北栄町	スクミリンゴガイ被害低減へ、現地における対策の励行推進、効果検証を行うとともに、対策協議会の運営助言や対策提案等を行った。	水口ネット（発生地域全体：200ha）、レーザーレベラ施行（浅水管理）、薬剤施用技術実証が行われ被害が減少した。
有機・特別栽培農産物・GAP等総合支援事業	北栄町 琴浦町	有機・特別栽培農産物の栽培技術等についての助言、支援を行った。 有機農産物の検査・判定業務を行った。	特別栽培農産物の認証は、管内で21件であった。
産地生産基盤パワーアップ事業	琴浦町 北栄町	共同選果場の改修整備に向け、産地の状況や将来構想、生産者の意見聞き取りを行いながら、産地計画作成へ向けての助言や資料作成を行った。	「大栄西瓜選果場」、 「琴浦製氷機（ブロッコリー）」で、事業に取り組むこととなった。
戦略的スーパー園芸団地整備事業	琴浦町	優良園の継承策として、新規ジョイント栽培園をやらいや果樹園に登録するよう働きかけた。 梨ジョイント団地の推進を行った。	令和3年度のやらいや登録園2園、ジョイント団地整備は高野地区で4園実施された。
農場認証普及推進事業	琴浦町	HACCP認証農場の認証維持に向けて、2農場で書類作成を支援した。HACCPチームメンバーとして、推進会議での助言や内部検証を実施した。	HACCP認証農場は、継続して認証された。
畜産クラスター施設整備事業	北栄町 琴浦町	酪農家及び肉用牛農家（法人を組む）の自給飼料生産を支援した。 酪農（1法人）で、規模拡大の施設整備について、事業計画作成を支援した。	自給飼料生産の取り組みが順調に行われた。 事業を申請し、計画が承認された。

(5) 農業改良普及所が指導及び設置している展示圃（農業改良普及活動促進事業）の設置状況調べ

(令和4年3月31日現在)

事業名	展示目的	展示内容	実施場所	実施者名	事業費	事業量計画(実績)	展示期間	指導した期間	支払額	支払年月日
協同農業普及事業にかかる実証ほ	水稻新品種「星空舞」の紙マルチ栽培における有機質肥料の施用方法の確立	紙マルチ栽培における「星空舞」の生育経過および収量性の把握と、高品質、良食味をめざした有機質肥料の施用方法を検討した。	琴浦町美好	個人	10,000円	30a	R3.5～ R3.9	R3.5～ R4.3	10,000円	R4.3.23
	スイカ及びブロッコリー収穫作業におけるアシストスーツによる身体負担軽減効果の実証	重量物運搬や中腰姿勢で身体負担が大きい、スイカ及びブロッコリーの収穫作業で、アシストスーツ着用による身体負担軽減効果を実証した。	琴浦町逢束	個人	10,000円	スイカ： 6収穫日  ブロッコリー： 2収穫日	R3.6 R3.12	R3.5～ R4.3	10,000円	R4.3.23
	スクミリンゴガイのほ場流入防止方法の検討	スクミリンゴガイ多発地域の水田で、地域に適した、低コストで設置できる網の選定と地域への普及を目指す。	北栄町下神	個人	10,000円	10a	R3.5～ R3.9	R3.5～ R4.2	10,000円	R4.3.23
	ねばりっこの乾物率向上させる施肥法の検討(1)	ねばりっこの出荷後の腐敗対策として、乾物率の向上が有効であるが、園芸試験場で試験中の前倒し施肥法により乾物率が向上するかを検討する。	北栄町西園	個人	10,000円	20a	R3.5～ R3.12	R3.5～ R4.2	10,000円	R4.3.23

ねばりっこの乾物率向上させる施肥法の検討(2)	ねばりっこの出荷後の腐敗対策として、乾物率の向上が有効であるが、園芸試験場で試験中の前倒し施肥法により乾物率が向上するかを検討する。	北栄町東園	個人	10,000円	20a	R3. 5～ R3. 12	R3. 5～ R4. 2	10,000円	R4. 3. 23
ストックの灌水管理による芯なし抑制効果の検討	ストックの花穂形成が途中で止まる「芯なし」が前年多発した圃場で通、ストックの灌水量と土壌水分の推移を計測し、芯なし発生との関係を明らかにする。	北栄町上種	個人	10,000円	3a	R3. 8～ R4. 1	R3. 7～ R4. 2	10,000円	R4. 3. 23
「新甘泉」のジョイント栽培園における側枝更新方法の検討	「新甘泉」のジョイント栽培で、側枝更新が遅れ、安定的収量が確保できない現状から、ジョイント栽培園の実態を調査し、収量確保の最良の側枝更新方法を検討する。	琴浦町今在家	個人	10,000円	0. 3a ×14園	R3. 4～ R3. 11	R3. 6～ R3. 9	10,000円	R4. 3. 23
「王秋」の摘花(果)によるコルク状障害の軽減について	コルク状障害対策として、軽減対策期間の拡大が期待できる摘花(早期摘果)処理がコルク状障害発生に及ぼす影響を調査する。	琴浦町粥盛	個人	10,000円	0. 7a	R3. 4～ R3. 11	H3. 4～ R3. 12	10,000円	R4. 3. 23

# 地 域 整 備 課

13 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目名	農地総務費	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
国営土地改良事業関連事業 (国営造成施設管理体制整備 促進事業)	多面的機能の発揮に向けた管理体制整備を促進するため、管理体制整備推進協議会・幹事会において協議・連携を図るとともに、農家や地域住民に対する啓発活動に助成。 【対象:琴浦町】	
国営土地改良事業関連事業 (基幹水利施設管理事業)	基幹的な国営造成施設を適正に管理し施設の持つ公共・公益的な効果を十分に発揮させるために維持管理費の一部について助成。 【対象:琴浦町】	
国営土地改良事業関連事業 (水利施設管理強化事業)	水利施設管理強化計画に基づき、国営造成施設(共同事業により造成した施設を含む。)及びこれと一体不可分な県営造成施設を管理する土地改良区連合に対する助成。 【対象:琴浦町】	
しっかり守る農林基盤交付金	市町が行う農林業生産基盤の整備、補修等に対して、事業費の一部を助成。 【対象:倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町】	

目名	土地改良費	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
農地集積加速化農地整備事業	農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約を図るため、区画整理1地区について工事着手した。	
農山漁村地域整備交付金 (保全対策)	農産物輸送路の健全性及び安全性確保の基礎資料とするために行う既設農道橋の点検診断に対して助成。 【対象:北栄町】 【N=2橋】	
農業体質強化基盤整備促進 支援事業	農業用排水施設、農道舗装等の施工に対して事業費を助成。 【対象:倉吉市、湯梨浜町、琴浦町】 【倉吉市:農業用排水施設L=482m、測量設計1式】【湯梨浜町:農道舗装A=235m <sup>2</sup> 】【琴浦町:農業用排水施設L=616m】	
団体営水利施設等保全高度 化事業	長寿命化対策に資する農業用排水施設等の整備に対して助成。 【対象:倉吉市、湯梨浜町、大栄町土地改良区、北条砂丘土地改良区】 【倉吉市:L=337m】【湯梨浜町:L=160m、測量設計1式】【大栄町土地改良区:減圧弁改修1式】【北条砂丘土地改良区:揚水機場施設更新1式】	
農地法面管理省力化支援事業	被覆植物(センチピートグラス)による農地法面の管理省力化技術の普及啓発のため、管内4地区にモデル展示・PRほ場を設置した。	

目名	耕地災害復旧費	(令和3年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
耕地災害復旧事業 (農地及び農業用施設災害復 旧事業)	平成30年、令和2年及び令和3年に発生した災害において被災した農地、農業用施設の復旧に対して助成。 【対象:倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町】	
耕地災害復旧事業 (農地・農業用施設・海岸及び 地すべり防止施設災害復旧事 業査定設計委託費等補助)	災害復旧事業補助計画概要書等を作成する際に要した経費(委託費等)について助成。 【対象:倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町】	

目名	農地防災事業費	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
県営特定農業用管水路等 特別対策事業	石綿管対策工事を1地区においてL=3,035m実施した。	
県営地域ため池総合整備事業	防災減災対策として改修予定の農業用ため池3地区について、2地区の改修工事を実施、1地区の実施設計に着手した。	
県営農業用河川工作物 応急対策事業	用水路の耐震化が必要な1地区について、改修工事を実施した。	
県営農地防災事業調査	防災重点ため池1箇所の事業計画策定を行った。頭首工2箇所の事業計画策定を行った。	
基幹水利施設更新事業(水管理施設)	国営東伯地区かんがい排水事業で整備された基幹水利施設更新事業(水管理施設)の更新に着手した。	

1.5 登記の状況調べ

(1) 登記の状況

(令和4年3月31日現在)

取得年度	取得筆数	前年度末 登記筆数	本年度 登記筆数	本年度末 未登記筆数	登記率	備考
	A 筆	B 筆	C 筆	A-B-C 筆	(B+C)/A×100 %	
29年度以前	13,939	13,346		593	95.8	
30年度	2	0	2	0	100.0	
元年度	0	0	0	0		
2年度	3	0	3	0	100.0	
3年度	0	0	0	0		

(注) 本年度において、前年度以前の事業にかかる未登記の発生があった場合は、本年度の取得筆数に含めて記入すること。

(2) 未登記の解消状況

(令和4年3月31日現在)

区分	前年度末 未登記筆数 A	本年度 解消筆数 B	本年度末 未登記筆数 A-B	解消理由
土地区画整理区分を除く	589	0	588	
土地区画整理分				
計				

1.6 林業改良指導活動状況調べ

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果

(注) 指導活動の重点事項と指導活動内容、成果または結果等を記載すること。



# 林業振興課

1.3 事業別予算執行状況調べ

(1) 事業の執行状況

目 名	林業振興費 (現年)	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
鳥取県林業再生事業	<p>持続的な林業経営を推進するため、間伐から搬出作業におけるコスト削減を目的とした低コスト施業体制を整備しようとする林業事業体等の機械化と森林作業道の開設を支援する。</p> <p><b>【実績】</b>                      林業機械リース 4台 (林業事業体4団体)                      林業専用道補強 1路線</p>	
きのこ王国とっとり推進事業	<p>鳥取県産原木しいたけ等の生産体制の整備、原木の安定確保、生産者の育成・確保等を支援する。</p> <p><b>【実績】</b>                      安全労働確保支援 (防護衣等の導入支援) 3名                      (ヘルメット1、防護ズボン3、防護ブーツ3、アームチャップス3、作業手袋1)                      生産拡大支援 (種駒・原木の助成) 6名</p>	
鳥取県森林環境保全税関連事業	<p>県民共通の財産である森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、森林環境保全税により、竹林の拡大防止・適正管理のための竹林整備、文化財周辺の景観向上のための枯損木の伐採等を支援する景観対策及び森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成を図る。</p> <p><b>【実績】</b>                      竹林整備：倉吉市 (2.47ha)、三朝町 (0.24ha)、湯梨浜町 (0.43ha)                      琴浦町 (0.14ha)、北栄町 (0.10ha)                      景観対策：湯梨浜町 (0.16ha、管理不足の竹林等の伐採)                      倉吉市 (0.2ha、管理不足の枯損木、竹林等の伐採)                      森林整備活動等：4団体が森林教室や森林整備・植樹を実施</p>	
鳥取県森林整備担い手育成総合対策事業	<p>森林整備の担い手である林業労働者の新規参入・定着を促進するために、雇用条件の改善、技術研修の実施、作業現場の安全確保対策等について支援する。</p> <p><b>【実績】</b>                      安全衛生技能講習 (14名)                      安全装備購入 (73点) 社会保険料支払支援 (5名)</p>	
鳥取県木材産業人材育成推進事業	<p>県産原木又は県産材を取り扱う木材産業事業体の人材育成及び就業者の資格の取得等を支援する。</p> <p><b>【実績】</b>                      資格取得支援 (1名)</p>	
鳥取県間伐材搬出等事業	<p>間伐の実施及び間伐材の出荷または販売に要する経費を支援する。</p> <p><b>【実績】</b>                      搬出材積 1,999m<sup>3</sup></p>	

目 名		林業振興費（明許）		（令和4年3月31日現在）	
事業名		事業の概要（目的、実績等）			
鳥取県林業再生事業		機械化施業とコスト削減に不可欠な林業専用道（規格相当）の開設を行う林業事業者等を支援する。 <b>【実績】</b> 林業専用道開設 2,351m（林業事業者1団体）			
鳥取県合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業		機械化施業とコスト削減に不可欠な林業専用道（規格相当）の開設を行う林業事業者等を支援する。 <b>【実績】</b> 林業専用道開設 500m（林業事業者1団体）			

目 名		森林病虫害防除費（現年）		（令和4年3月31日現在）	
事業名		事業の概要（目的、実績等）			
鳥取県松くい虫等防除事業		5 主な事業に関する調べに記載			

目 名		森林病虫害防除費（明許）		（令和4年3月31日現在）	
事業名		事業の概要（目的、実績等）			
鳥取県松くい虫等防除事業		5 主な事業に関する調べに記載			

目 名		造林費（現年）		（令和4年3月31日現在）	
事業名		事業の概要（目的、実績等）			
鳥取県造林事業（公共）		森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ森林整備を計画的に推進するとともに、生物多様性の保全等に資する森林整備を推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図る。 <b>【実績】</b> 間伐・保育間伐・除伐 28ha、拡大造林 3ha、再造林 1ha 下刈 56ha、枝打ち 0.7ha、雪起こし 0.1ha、シカ防護柵 275m、衛生伐 12ha			
鳥取県先進的造林技術推進事業		成長特性に優れた早生樹（コウヨウザン）のモデル林造成に対し支援することにより、林業の効率化・低コスト化の推進を図る <b>【実績】</b> 下刈り 6.25ha、人工造林 2.02ha			

目 名	造林費 (明許)	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
鳥取県造林事業 (公共)	<p>森林施業の集約化や路網整備を通じて施業の低コスト化を図りつつ森林整備を計画的に推進するとともに、生物多様性の保全等に資する森林整備を推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図る。</p> <p>【実績】            間伐・保育間伐・除伐 131ha、森林作業道 18,380m、            拡大造林 7ha、枝打ち 3ha、衛生伐 24ha</p>	

目 名	治山費 (現年)	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
治山事業 (公共)	<p>&lt;保安林改良&gt;            はわい長瀬地区の海岸防災林 (保安林) の防風機能を回復するためクロマツを植栽し、併せてクロマツの初期成長を促すため木製防風工及び静砂工を整備した。</p> <p>&lt;保育&gt;            湯梨浜町から北栄町の海岸防災林 (保安林) について、保安林改良で植栽したクロマツが雑草木に被圧されないよう下刈を実施した。</p> <p>【実績】            保安林改良：植栽A=0.46ha、木製防風工L=136m、静砂工L=1,283m            下刈：A=2.85ha</p>	
県単治山維持修繕事業	<p>北栄町の海岸部で、経年劣化による倒壊の恐れや、波浪により基礎部分が洗掘され不安定になっている木製防風工を撤去し、併せて過去に暴風や波浪で倒壊し、林内に集積されている防風工の部材 (丸太等) を処分した。</p> <p>【実績】            北栄町東園地区及び江北地区ほか2地区において約7,300本 (L=2.0m φ=12cm) を撤去処分</p>	
森林保全管理事業 (非公共)	<p>森林保全のため、巡視員3名を配置し、保安林及び入山者の多い森林を中心に巡視活動 (年20日/1人) を行うことにより、違法伐採・不法投棄・森林病虫害・林野災害等の早期発見と、林地開発への監視等を行った。</p> <p>【実績】            不法投棄の発見：1件 (中部総合事務所環境建築局に報告)            森林被害の発見：雪害1件 (中部森林組合を介して森林所有者へ連絡)            案内板・標識板の補修：22件            林道等の倒木の処理：25件</p>	

目 名	林道費 (事故)	(令和4年3月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
県営森林環境保全整備林道事業 (国補正)	<p>持続可能な林業経営の実現に向けて、間伐作業など森林施業のための木材運送用車両等が通行可能な林業専用道「富海福山線」の整備を実施。</p> <p>開設工事 (福山工区) 完成 L=650m</p>	

目 名	林道費 (明許)	(令和 4年3月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
県営森林環境保全整備林道事業 (国補正)	持続可能な林業経営の実現に向けて、間伐作業など森林施業のための木材運送用車両等が通行可能な林業専用道「富海福山線」の整備を実施。 開設工事 (福山工区) 計画 L=680m (注: 事故繰越のため令和4年度も施工中) 測量設計 (富海工区) 一式 測量設計 (福山工区) 一式 立木補償費 一式	

目 名	林道費 (現年)	(令和 4年3月31日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
県営森林環境保全整備林道事業 (公共)	持続可能な林業経営の実現に向けて、間伐作業など森林施業のための木材運送用車両等が通行可能な林業専用道「富海福山線」の整備を実施。 開設工事 (富海工区) 計画 L=552m (注: 繰越のため令和4年度も施工中)	
県単林道維持補修・補助事業	県が管理している林業専用道の維持補修を実施。 林業専用道 富海福山線 (富海工区) 土砂撤去	
団体営森林環境保全整備林道事業 (公共)	林道施設PCB廃棄物処理促進対策 市町が管理している林道施設のPCB (ポリ塩化ビフェニル) 含有塗膜調査に対し補助。 三朝町 林道余川線 (2橋) 琴浦町 林道大父線 (1橋)	
県営森林環境保全整備林道事業 (国補正)	持続可能な林業経営の実現に向けて、間伐作業など森林施業のための木材運送用車両等が通行可能な林業専用道「富海福山線」の整備を実施。 測量設計 (富海工区・福山工区) 一式	

- (注) (1) 目ごとに作成すること。(事務的経費のみで事業として実施していないものは作成不要)
- (2) 事業名は、同一目内で分類されている事業を記入すること。
- (3) 「事業の概要 (目的、実績等)」欄は、可能なものは事業の実施規模 (件数、延長、面積等) も簡潔に記載すること。また、実績等の記載については、「5 主な事業に関する調べ」の「ウ 成果及び効果」の注書きの例による。なお、「5 主な事業に関する調べ」に記載した事業は、「5 主な事業に関する調べに記載」と表示すること。

1.6 林業改良指導活動状況調べ

普及課題名	普及対象	普及指導内容	成果又は結果
<p>素材生産量の拡大</p>	<p>中部森林組合</p>	<p>《施業集約化の取組支援》</p> <p>(1) 森林GIS等を活用した集約化の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員対象にした森林・林業基礎研修会（森林施業）を実施した。</li> <li>・レーザ航測データを活用するための森林GISの操作研修会及び操作や活用の助言、指導を行った。</li> </ul> <p>(2) 効率的な路網計画技術の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路網作成支援ソフト（FRD）などを活用した路線計画の検討、提案を行った。</li> <li>・幹線路網あり方検討会を開催した。</li> </ul> <p>(3) ICT技術を活用した省力化の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GPS測量、全天空カメラ、ハンディスキャナ等ICTを用いた省力化の提案、助言を行った。</li> <li>・レーザ航測データの精度検証、利活用のための調査、検討を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林GISを利活用して、森林資源等の把握や集約化の検討が始まった。</li> <li>・事前の現地調査に活用するようになった。</li> <li>・第3期森林経営計画に向けて集約化の検討がはじまり、核となる9団地の絞り込みが行われた。</li> <li>・路網作成支援ソフト（FRD）などを利用して、短期間に路線計画、開設が行われた。</li> <li>・地域の核となる集約化団地の検討が始まり、路網（幹線）検討が行われ、9団地、13路線の検討が行われた。</li> <li>・GPS測量機の導入が行われると共に、他のICT機器の導入の検討も行われ、作業の省力化・効率化に動きだした。</li> </ul>
<p>新たな森林管理システムを活用した森林整備の推進</p>	<p>管内1市4町、中部森林組合、新たな森林管理システム推進センター（鳥取県森林組合連合会）</p>	<p>《意向調査や林分調査の実施方法の改善支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レーザ航測データを活用した森林GISを使った意向調査地の絞り込み、現地調査の準備等の助言や指導を行った</li> <li>・ICT（全天空カメラ、簡易レーザースキャナ）を活用した森林調査方法の検討を行った。</li> </ul> <p>《意向調査結果を森林整備に繋げる支援》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営管理制度進捗、森林整備推進のための意見交換会を開催した。</li> <li>・森林資源の把握、ゾーニングのための森林GIS操作研修会を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林GISを使って調査の事前準備や現地調査に活用された。・ICTの有効性が理解され、地上レーザ等の導入の検討をはじめた。</li> <li>・意向結果を核とした集約化に基づく次期森林経営計画の策定が始まった。</li> <li>・森林整備推進のための路網などの環境整備が議論され森林環境譲与税の有効活用に向けた検討が始まった。</li> </ul>

(注) 指導活動の重点事項と指導活動内容、成果または結果等を記載すること。